

- ◆安保法制 安全保障どころか「戦争する国づくり」法制
- ◆ロシア大統領「核兵器の使用準備」発言 核兵器は廃絶しかない
- ◆長野県医労連統一行動 スト
- ◆加盟組合紹介

# 安保法制 安全保障どころか 「戦争する国づくり」法制

## 自民・公明 世論に背く危険な合意

「安保法制」で拡大する自衛隊の活動 (3/21 報道より)

- 集团的自衛権：米国を攻撃してきた第三国に反撃する(地球規模で)／ペルシャ湾などシーレーンで機雷を掃海する
- 他国軍の後方支援：世界のどこでも米軍や他国軍に給油・輸送など後方支援ができる／いつでも、どこでも米軍の戦争支援
- 国際的な平和協力：国連が統括しない活動にも参加する／任務遂行のために武器を使う
- その他：武器を使って法人を救出する／どこでも(日本周辺を撤廃)船舶検査ができる など等、危険な内容がいっぱいです。

◆自民・公明両党は3月20日(金)、集团的自衛権の行使容認の閣議決定を具体化する、「安保法制」について正式に合意しました。「海外で戦争する国」づくりを押し進める危険な合意です。

◆その内容は、自衛などとは程遠いものです。アメリカと一緒に、いつでも、どこでも、どんな時でも戦争を行う恐ろしいものです。政府は、4月中旬以

降に与党協議を行い、5月の連休明けに法案を提出し、今国会での強行成立をねらっています。

◆戦後70年、侵略戦争の反省の上で築いてきた、日本の平和の誓いを踏みつけにする法案は、絶対に許せません。安倍暴走政治をストップさせ、戦争の無い平和な世界をつくりましょう。

## ロシア大統領「核兵器の使用準備」発言 核兵器は廃絶しかない

- ◆マスコミ各紙が報道するように、ロシアのプーチン大統領が、去年クリミア半島に軍事介入・併合を行った際「核兵器の使用を準備していた」と発言しました。
- ◆プーチン発言は、核兵器がある限り、保有国が使用する可能性があることをまざまざと示しました。核兵器の廃絶が緊急課題であることは明らかです。被爆70年、日本が先頭に立ち核兵器廃絶のとりくみを進める事が求められています

裏面に春闘ストライキ記事など掲載。ご覧ください。

# 命を守る労働条件を！ストライキ決行

## 長野県医療労働組合連合会 春闘統一行動

医労連の仲間が、春闘統一行動日の3月12日(木)、雪が舞う中ストライキに立ち上がりました。長野地区では、全日赤長野が8時30分から60分の時限ストを、長野医療生協労組が29分の時限ストを行いました。

### 長野医療生協労組 寒さ吹っ飛ばすストライキ

3月12日、長野中央病院屋上と老健ふるさとを会場に、29分間ストライキと執行部の半日ストライキを行いました。長野労連、長野県国公、JMIUから4

くむ長野医療生協労組(3・12)



名の支援と合わせて204名の参加で行いました。

病院のストライキは、雪の降る屋上で行いました。「どんな人でも安心して受診できるような医療制度が必要。署名など協力していこう」「昨年是一時金の削減が大きく生活が大変。今年是一時金の確保を勝ちとっていきたい」「十分な対応を行うには看護師が足りない。看護師の増員を」「力を合わせてこの困難を乗り越えよう」など、どれも力のこもった発言で寒さが吹っ飛びました。

その後執行部24名と長野県医労連の仲間5名は、すっかり青空になった長野駅前で署名・宣伝行動を行いました。

署名を書きながら、「本当に看護師さんは大変よね。頑張ってくれ」「今の安倍政権には腹が立つ。頑張ってくれ」などの応援もいただきました。署名は197筆が集まりました。

大幅賃上げ・大幅増員・社会保障充実を求めて、引き続き、声を挙げていきましょう。

執行委員長 大矢 美奈子

## 加盟組合紹介

### 春闘で、どこでもだれでも賃上げを

#### 長野県国家公務員労働組合共闘会議(長野県国公)

長野県国家公務員共闘会議(以下、県国公)は、長野県内で働く国家公務員の仲間組織です。加盟単組は、全医労、全運輸、全気象、全建労、全国税、全司法、全通信、全法務、全労働の10単組です。2年前に信州大学教職員組合にオズバーバー加盟して頂きました。いくつかの支部が長野労連へ直接加盟しています。県国公としては長野労連にオズバーバー加盟となっています。バスをチャーターしての中央行動や地域への宣伝行動等で、長野労連をはじめ加盟組織の皆さんに大変お世話になっており、この場をお借りして御礼申し上げます。こうした官民一体のとりくみにより、賃上げ特例法を2年で廃止し、7年ぶりに賃上げを実現しました。総合的給与の見直しも勧告され、4月から多くの職員が賃上げになるので両手を挙げて喜ばませんが、賃上げ違憲訴訟とともにさらなる国民的な行動により、攻撃を跳ね返していきたいと思

います。公務職場は、政府の進め

る度重なる定員削減計画や総人件費抑制政策等の攻撃により、職場は人員不足で慢性的な長時間労働となつています。また、新規採用職員の採用抑制政策により、職場には若手職員が極端に少なく、技術力の継承など組織的に大きな問題となつています。こうした厳しい職場実態を改善し、住民の方々のための民主的な行政の充実を目指しています。

今春闘のとりくみとしては、「安倍暴走政治をストップ」させるため、県内10地区で春闘討論集会を開催し意思統一を行い、2・15長野行動、3・5 JMIUリレースト支援、3・12宣伝等の行動に参加しています。今後は県国公独自のとりくみとして「行政なんでも相談」等を実施予定です。今後も長野労連の仲間とともにとりくみをすすめて、安倍暴走政治をストップさせ、春闘で、どこでも誰でも賃上げを実現させるため共に頑張りましょう。

長野県国公務務局長

入澤 哲雄